

 平成26年6月11日、白河市東釜子字 枇杷山66番地1にて、分譲型太陽光 発電所の完成披露式典を行いました。 式典には各区画のオーナーをはじめ 白河市長、白河商工会議所会頭 白河地域再生可能エネルギー推進協議会(以下、協議会)会長らが参列しテープカット、引渡証明書の授与が 行われました。

地域内で資金と資源を循環させることをコンセプトに長い間未利用地であった市所有の土地を協議会が借上げ区画分けし、分譲方式で太陽光発電事業者を募集しました。

去年の8月に協議会が白河市広報に掲載するなどし、一般公募を行い 平成25年8月1日~同年8月30日までの1ヶ月間の間にあった応募は、10社以上。 その事業者様の全てが地元の中小企業の皆さまです。

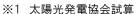
区画②は協議会の会員が平成24年12月に立ち上げた白河エナジー(株)で「実証モデル事業」として平成25年6月28日にすでに稼働しており現在までの発電量は56,000kWhを超えており、日本のひと世帯の年間使用電力量を5,650kWh(※1)とすると約10年分の電力を発電したことになります。

他5区画分は協議会で抽選を行い、それぞれ事業者様たちが選ばれました。 大雪の影響で工事が途中で中断するなどのトラブルもありましたが

平成26年6月6日には全ての区画の発電所が稼働し無事に式典を迎えることが出来ました。

当日は多くのマスコミ関係者も取材に訪れ、各区画のオーナーがインタビューを受けるなどし新聞やテレビで放送されました。 敷地内の全出力は現在約270kWですが今年度中に、新たに区画⑦⑧を新設する予定であり、全て稼働すると容量は 約360kWとなります。1日平均の発電量は一般家庭およそ80世帯分の1日の消費電力量に相当します。

	区画①	区画②	区画③	区画④	区画⑤	区画⑥	区画⑦	区画8
オーナー	(有)斉藤鉄工	白河エナジー(株)	(有)樋口建設	(株)しらかわ技術	(株)サポ-トシステム	(株)共立塗装	白河エナジー(株)	白河エナジー(株)
メーカー	京セラ	長州産業	京セラ	京セラ	京セラ	京セラ	ソラー フロンティア	ソラー フロンティア
モジュール 枚数	263枚	216枚	263枚	263枚	263枚	263枚		
出力	44kW	49.5kW	44kW	44kW	44kW	44kW		
年間予想 総発電量(※2)	53, 000kWh	59, 000kWh	53, 000kWh	53, 000kWh	53, 000kWh	53, 000kWh	未定	未定
系統連系日	平成26年 4月25日	平成25年 6月28日	平成26年 5月29日	平成26年 5月29日	平成26年 6月6日	平成26年 6月6日		



※2 施工計画時のシミュレーション数値による



揭載記事抜粋

アカットを行う 木市長 (左から4 人目)、鈴木会長(同 5人目) ら

白河再生エネ推進協が披露式典

区

福島民友新聞社様 平成26年6月12日 掲載



うち5区画は公募したオー の太陽光発電設備を設置 市と協定を結び土地を借り 39平方がで、同協議会が 完成を祝った。 典を現地で行い、 け、6区画に55点以時規模 子の旧東中跡地に完成した 択事業として模擬マッチン 区画はこれに先立ち、経済 ている。全体を8区画に分 太陽光発電所の完成披露式 北電力に売られており、市 産業省の福島実証モデルゼ 云長)は11日、白河市東

第 白河地域再生可能エネル ここで発電した電力は恵 同発電所の総面積は9つ 一推進協議会(鈴木俊**#** -企業に引き渡した。1

一画年間20万円売電

MK

八で、いずれも前期の 太陽光発電設備が落成 再生エネ推進協 鈴は国委託事業の「見本 基あり、このうち一基 した非製造業につい 披露式典で祝う 超に転じた。同事務所

福島民報社様 平成26年6月12日 掲載

テレビ放送 平成26年6月12日 NHK総合「NHKニュースおはよう日本」 6:56~放送

地域再生、エネルギーの自給自足の第一歩となる記念すべき1日に 御立会い下さった皆様、本当にありがとうございました。

白河地域再生可能エネルギー推進協議会では今後も地元住民を 巻き込んだ様々な活動を通して、地域内での資源を活かしていく活動を 続けてまいります。

そして再生可能エネルギーを利用する事の付加価値を 多くの方に知ってもらえるよう、よりいっそう精進して参りたいと存じます。 謹んで御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬ ご厚誼を賜ります よう宜しくお願い申し上げます。

白河地域再生可能エネルギー推進協議会 会長 鈴木俊雄 河商工会議所会頭と各オー

建設、しらか

女王」(吹き替